



北陸経済連合会 新たな価値創出委員会

2024年度 北陸産学技術交流会 開催テーマ（共催者）募集

北陸経済連合会では、会員の企業実務者および大学研究者等の交流機会の創出、オープンイノベーションの契機として頂くよう、本年度も「北陸産学技術交流会」（以下、技術交流会）を開催致します。

つきましては、技術交流会を北経連と共催いただける会員の企業、団体並びに大学から下記の要領にて開催テーマを募集いたします。ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

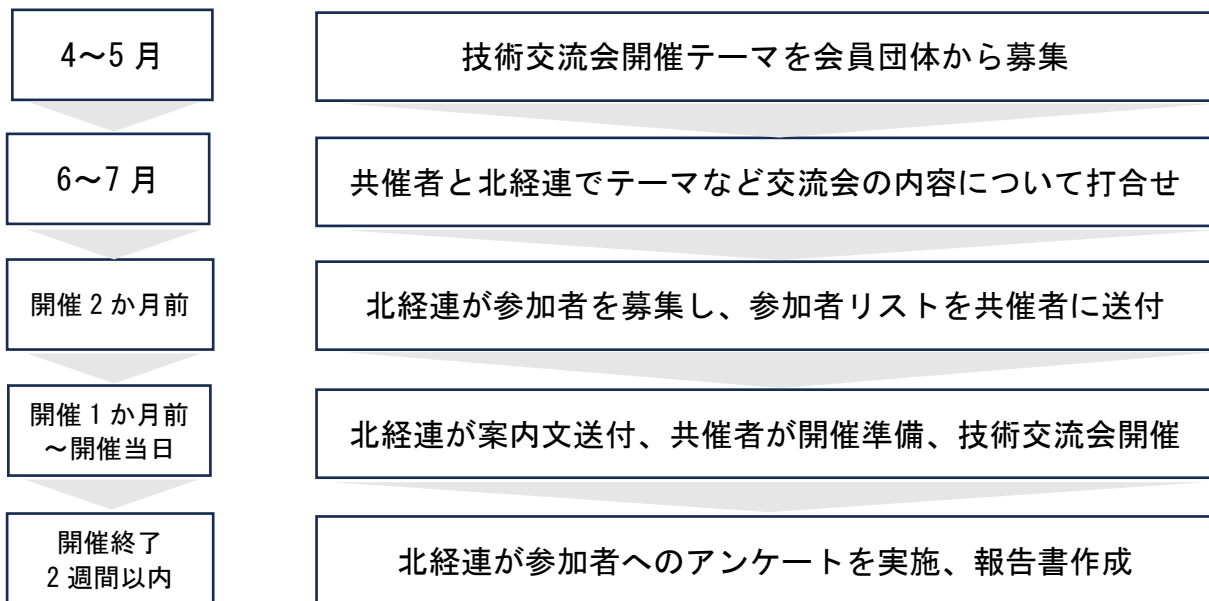
【募集要領】

- ・実施時期：2024年7月～2025年2月（開催にかかる諸費用は北経連にて負担）
- ・募集期間：2024年4月1日（月）～5月17日（金）
- ・募集件数：4件（応募多数の場合は相談します。）
- ・申込方法：p3記入例を参考に、p2「別紙 開催テーマ提案書」に必要事項を記載の上、下記までメールでご返送願います。

送付先：北陸経済連合会 松木・坂井

E-mail：matsuki@hokkeiren.gr.jp TEL:076-282-9539

【技術交流会開催までの流れ】



【ご参考】2023年度実績とアンケート結果

https://www.hokkeiren.gr.jp/committee/advanced_technology/1810.html?year=2023

北陸経済連合会 新たな価値創出委員会
 2024年度 北陸産学技術交流会 開催テーマ提案書
 提案締切：5月17日(金)

開催テーマ	
テーマ概要 (背景やテーマ提案 の理由等の資料等 があれば添付)	
参加対象者等 (開催方法・募集人数等)	
企業・団体名	
連絡先	所属・役職
	氏名
	TEL : _____
	E-mail : _____
連絡事項 (北経連へ確認したい 事項があれば記載)	

※開催テーマは、自社製品の売り込みに関する内容はお控え願います。

【送付・問合せ先】

北陸経済連合会 松木、坂井 TEL:076-282-9539
 E-mail : matsuki@hokkeiren.gr.jp

※ご記入頂いた情報は、北経連で適切に管理し、当会に係る連絡調整にのみ利用させていただきます。

<記入例 1：技術シーズの適用分野に関する意見交換>

開催テーマ	〇〇に優れる〇〇技術の適用可能性（意見交換）
テーマ概要	当社では、省エネに寄与する〇〇技術を有しており、この技術を活かした新規事業分野を検討しています。 当該技術を適用できる製品・生産設備のアイデアや応用展開について幅広く意見交換を行いたいと思います。
参加対象者等	〇〇設備を有する担当者の方、〇〇に関心のある技術者の方 〇〇技術関連の大学研究者 オンライン開催で、定員は最大 10 名程度

<記入例 2：共通課題への取組みに関する情報交換>

開催テーマ	〇〇〇〇が取り組む DX について
テーマ概要	弊社では社内 DX 推進に向けて〇〇に関する取組みや DX 人材の育成等を行っております。弊社の取組みを紹介するとともに、各社で DX 推進されている方との情報交換を希望します。
参加対象者等	企業の DX 推進担当者（業種は問いません） 開催方法（リアル or オンライン）は別途相談 リアルなら定員 20 名、オンラインなら定員 10 名

<記入例 3：施設・設備見学>

開催テーマ	スマートファクトリー実現を目指した〇〇工場見学
テーマ概要	当社では、デジタル技術に加えて IoT・AI 技術によるスマートファクトリーの実現に向け〇〇工場を改修して、昨年に竣工しました。 見学を希望される方にご覧頂き、これからのスマートファクトリーについて意見交換を実施したいと思います。
参加対象者等	製造業の方に限らず、ご関心のある方の参加を歓迎します。 施設見学は最大 3 班（7 名/班）まで対応可能なため、定員 20 名程度で募集したいと思います。

<記入例 4：新しい技術の活用に関する情報交換>

開催テーマ	社内業務における生成 AI の活用について
テーマ概要	弊社では〇〇や〇〇の業務において生成 AI の活用を検討しております。しかし、〇〇などの活用に向けた課題もあり、実際に活用している団体さま、または活用を検討されている団体さまとの意見交換を通じて、課題共有や活用方法について情報交換したいと考えております。
参加対象者等	生成 AI を活用あるいは活用をご検討されている企業の方（業種は問いません）、生成 AI に知見のある大学研究者の方 開催方法（リアル or オンライン）は別途相談 定員は、オンラインなら 10 名程度、リアルなら 20 名程度